

経営方針：校舎一体型小・中一貫校の建学の精神「温故創新」を継承すると共に、「学校の主人公は児童生徒であり、どの子どもどんな子ども掛け替えのない子どもである」との立場に立ち、校内研修を核に、職員の協働性と同僚性を高めながら組織的に学校経営に当たる。

(1)小・中一貫した教育課程の編成（発達段階に応じた教育課程の編成と実践及び評価） (2)教科指導と生徒指導の充実（学ぶ楽しさと学校生活の安心感を持たせる） (3)現職教育と指導力の向上（教育専門職としての資質・能力の向上）

- 児童生徒について
- ・積極的に人と関わろうとする。
 - ・小から中への移行がスムーズである。
 - ・基礎基本、学習習慣を高める必要がある。
- 保護者・地域について
- ・学校教育への関心が高く、協力的である。
 - ・学校支援ボランティアに積極的である。
 - ・小・中一貫教育への意識や関心が高い。
- 教師の願い（本校児童生徒の課題）
- ・学力及び学習状況（生活状況）を向上させたい。
 - ・より良い人間関係をつくりたい。
 - ・心と体のたくましさを育てたい。

学校経営のキーワード「コミュニケーション」

学校教育目標
「心豊かなつながりの中で、自ら価値を学び取り、たくましく課題を乗り越える児童生徒の育成」

共学：共に学び合う 協力：共に支え合う 強健：共に鍛え合う

- 日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領
 - 宮城県教育方針 ○宮城県東部教育事務所管内教育方針
 - 登米市教育基本方針
- 1 学校教育
- ◇ 確かな学力の向上と豊かな社会性の育成
 - ◇ 学校と家庭・地域が連携した地域とともにある学校づくりの推進
- 2 社会教育
- ◇ 心豊かな生活に向けた生涯学習の充実
 - ◇ 地域に密着したスポーツ活動の推進
 - ◇ 文化が息づくまちの創造

目指す教師像
「子どもの良さを引き出し伸ばす教師」

- 【教師の姿勢】
- 勇気付けの言葉を
 - めあて・ねらいを一言で明確に
 - 保護者とのより良い関係を
 - 子どものプライドを大切に
 - 生徒指導と授業は一体と心得て
 - 一場面一笑顔で
 - 研修を重ねて

目指す学校像
「誰もが来たくなる学校」
—児童生徒が安心感（所属感，承認感，有用感）を感じる学校—

- 目指す児童生徒像
- ・「学習や活動に共に取り組み価値を学ぶ児童生徒」（共学：共に学び合う）
 - ・「物事を前向きにとらえ豊かなつながりを創る児童生徒」（協力：共に支え合う）
 - ・「たくましい心と身体で課題を乗り越える児童生徒」（強健：共に鍛え合う）
- | (1~3年) | (4~6年) | (7~9年) |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・よく聞き考えて話す児童 ・誰とでも仲良く助け合う児童 ・よく遊び運動する児童 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題を見付けて進んで取り組む児童 ・相手の立場に立って行動する児童 ・体力づくりに取り組む児童 | <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習に取り組み、互いに学び合う生徒 ・互いに認め合い、支え合う生徒 ・健康と安全に気を付け、心身を鍛え合う生徒 |

重点施策及び実践事項

(1) 誰もが学びたくなる授業を創る（共学）

- ・児童生徒の学習意欲を高め、自ら学ぶ授業を展開する。
- ・主体的・対話的で深い学びを実現する。
- ・教師の指導力向上のために校内研修を充実させる。

（実践項目）

- ① 「5つの提言+」の実現
- ② 対話を重視した授業の展開
- ③ 振り返り、適用問題の確実な実施

研究推進委員会

(2) 誰もが居心地の良い学校・学級を創る（協力）

- ・何事も前向きにとらえ豊かな人間関係を創る。
- ・児童生徒の良さをとらえ、所属感、承認感、有用感をもたせる。
- ・望ましい社会性を育成する（志教育の推進）。

（実践項目）

- ① エンカウンター等による人間関係づくり
- ② 生徒指導・相談体制の充実
- ③ 児童生徒の自主的活動の促進

生徒指導・特活

(3) 誰もが健康で安心して暮らせる学校を創る（強健）

- ・食育の視点から望ましい生活習慣を身に付けさせる。
- ・生涯にわたって健やかに生きることが出来る身体の基礎をつくる。
- ・身の回りの健康安全に配慮した学校生活について考えさせる。

（実践項目）

- ① 食生活の見直しと食育の推進
- ② 肥満予防と食事
- ③ 学校と家庭と関係機関と連携した食育を推進する

保健・給食

本年度の努力事項 「信頼関係づくりと発達段階に応じた自立心の育成」

(7) 指導上の課題を共有すると共に、改善策についても共に考え、組織力を高める。(8) 発達段階に応じて「児童生徒にできることは児童生徒の手で」行える場面を設定し、自立心を育成する。(9) 児童生徒の実態に基づき、めあて・ねらいを明確にし、必然性のある教育活動を実践することにより、保護者・地域の信頼性を高める。(10) 小中一貫校における持続可能な学校行事の在り方を引き続き学校運営協議会の議題とする。

- 「5つの提言+（プラス）」の実践
- 学力向上を図る「5つの提言」に、本校独自に具体的な方法や留意点を加え実践化を図るもの。
- 1 どの子にも積極的に声掛け、子どもの声に耳を傾けよう。
+「どの子どもどんな子ども掛け替えのない子ども」と自分に言い聞かせて
 - 2 子どもをほめよう、認めよう。
+勇気付けの言葉を笑顔とともに
 - 3 ねらいの明確化、終末に適用問題、授業感想を位置付けよう。
+授業後の姿を一言で +まとめ・振り返りで定着を
 - 4 自分の考えをノートに書かせよう。
+全員参加の授業づくり +活動、思考、交流の各場面を設定して
 - 5 家庭学習の時間を確保しよう。
+計画を立てさせて +学び方を身に付けさせて

互いに高め合う教師集団を創る-学力向上と指導力向上をねらいとした連続性・継続性のある校内研究の取組

研究主題 「学習する楽しさを実感し、自ら学ぼうとする児童生徒の育成」
—授業の終末に適用問題や振り返りを確実に実施する取組を通して—

内容 授業の終末段階に焦点を当て、全職員で適用問題や振り返りを確実に実施することで、「分かった!」「できた!」と学習する楽しさを実感し、自ら学ぼうとする児童生徒を育成する。

年次目標 [H30：1年次]「豊里型授業スタイル」の実践化
[R元：2年次] 教員個々がサブテーマを設定し、テーマの具現化を図る（中間のまとめ）
[R2：3年次] 実践を継続すると共に研究の成果と課題をまとめる

研究の視点 ①児童生徒を引き付ける導入の工夫（ねらいの明確化、意欲を引き出す課題、学習の見通し）
(例) ②かかわり合いを生む展開の工夫（考えをもたせ広げ深める発問、効果的なかかわり活動）
③確かな学びを実感させる終末の工夫（まとめ、振り返り）

- 生徒指導の基本
- 方針1 学校の主人公は児童生徒であり、どの子どもどんな子ども掛け替えのない子どもであるとの立場に立って指導に当たる。
- 方針2 児童生徒の良さを引き出し伸ばすために、プライドを大切にすること、勇気付けの言葉を掛けること、一場面一笑顔で接すること、授業で意欲を高めることを常に心掛けて指導に当たる。
- 方針3 「誰もが来たくなる学校」を実現するために、児童生徒が安心感（所属感、承認感、有用感）を感じるように指導に当たる。
- 不登校及びいじめ未然防止（このことに次の視点で取り組む）
- ・子どもの力で
 - ・言葉の力で
 - ・道徳教育で
 - ・人間関係づくり
 - ・情報の共有
 - ・職員研修（手引き等）
 - ・「学校いじめ防止基本方針（本校）」(H31.4)
 - ・「いじめを許さない学校づくりのために」(県教委 H24.9)
 - ・「不登校への対応の在り方についてII」(県教委 H27.3)

特色ある教育活動

<p>(1)小中9年間の一貫性を図る取組</p> <p>校内研究及び児童生徒理解のための研修など小中職員がともに取り組むことにより、発達段階に応じた指導や9年間を貫く指導の在り方について協議・検討しながら実践化する。〔教務担当〕</p>	<p>(2)学力の向上</p> <p>小中合同での校内研究への取組を基本とし、教員個々の創意工夫を尊重すると共に指導の一貫性を図ることにより児童生徒の学力の向上に努める。〔研究担当〕</p>	<p>(3)児童生徒活動の充実</p> <p>「誰もが来たくなる学校づくり」の実現に向けた、全校児童生徒による自主的活動を促進し、学校の一体感や愛校心、所属感、承認感、有用感を高める。〔生徒指導・特活担当〕</p>	<p>(4)学校支援ボランティアの積極的な活用</p> <p>読み聞かせ、図書整理、丸付け、教科指導における教員補助及びゲストティーチャー等の地域人材の支援を積極的に取り入れ、開かれた学校づくりに努める。〔コミュニティ・スクール担当〕</p>	<p>(5)地域に根ざした学習の充実</p> <p>学校運営協議会等の協力を得て、総合的な学習の時間を中心に地域人材や施設を活用し地域に根ざした学習の充実に努め、「ふるさと豊里」の良さに触れさせる。〔総合的な学習の時間担当〕</p>	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)学級アセスメントテストによる人間関係の変容 (2)登米市標準学力検査、全国学力・学習状況調査 (3)学校評価(教師、生徒、保護者、学校運営協議会)
--	---	---	---	--	--